

ひびき

教育目標：「なかよく かしく たくましく」
3本柱：さわやか挨拶 聞き方・話し方名人 いきいき運動

多治見市立共栄小学校 H29. 8. 31

頑張りの向こうにあるもの…

校長 楯 明夫

夏休みが終わりました。何より、元気に登校し、夏休み明け集会では、7月までにつけた力の一つ、しっかりと姿勢良く話を聞く姿に感激しました。夏休みは、親子で、たくさんの思い出はつくれたでしょうか。親子の会話はたくさんできたでしょうか。子どもたちは、「自分のことは自分でし、自分以外の人のために役立つこと」はできたでしょうか。夏休みの体験の一つ一つが、将来の「心のエネルギー」になるはずです。

さて、暑い日が続きます。小バエにも朝から悩まされる日々ですが、そんな中、子どもたちは運動会の応援歌を元気よく歌ってくれています。とても心が和みます。

子どもたちは、日々運動会に向けて一生懸命「心」と「身体」を鍛え始めています。先生たちも子どもたちを鍛えようと熱く指導していきます。きっと様々なトラブルも生まれることでしょう。なぜなら、頑張っているからです。昨年の共栄小学校の運動会の様子を見ながら、本当に一生懸命仲間と共に頑張ることが大好きな子たちだと思いました。うまくいかないこと、自分の思いが伝えきれないで悩むこと、疲れて思うように取り組めないこと等々、頑張っているからこそ、生まれる出来事です。頑張っているからこそ気持ちがぶつかり合うこともたくさん出てきます。昨年もそんな経験を積んだからこそ、感動的な解団式の姿がありました。こうした出来事を乗り切るヒントを与えることが教師や保護者の役割だと思っています。

「勝ちたい気持ちが強いんだね、きっとみんなもそう思っているよ」

「自分の言葉で、伝えてごらん。あなたならできるよ！」

「本当は、一緒に頑張りたいんだよね」

そんな言葉がけが思い浮かびます。身体だけでなく、仲間と共に頑張る心や気持ちが育ってくると、勝っても負けても、取組を通して得た喜びや自信につながると信じています。

頑張りの向こうにあるものを一人一人が得られると素敵だと思います。

「運動会を通して、仲間に優しい声をかけられる自分になりました。」

「最後まであきらめない自分になりました。」

「思い切り声を出すことが、気持ちいいと思える自分になりました。」

「係の活動を通して、仲間のために一生懸命になれる自分になりました。」

そんな新しい自分との出会いこそ、子どもたちに味わって欲しいと思っています。9月23日は、頑張りの向こうにあるものを見つけようと精一杯活動する子どもたちをともに応援しましょう。よろしくお祈りします。

